

# カトリック河原町教会だより

## 2022年7・8月

教皇フランシスコ 第108回「世界難民移住移動者の日」教皇メッセージ（抜粋）

2022年9月25日 移民や難民とともに未来を作る

親愛なる兄弟姉妹の皆さん

この世でのわたしたちの「旅」の究極の意味は、真の故郷、すなわちイエス・キリストによって始められた神の国を探し求めることであり、それはイエス・キリストが栄光のうちに再臨されるときに完全に実現します。「わたしたちは、義の宿る新しい天と新しい地とを、神の約束に従って待ち望んでいるのです」（二ペトロ 3・13）。正義は神の国を構成する要素の一つです。み旨を日々追い求める中で、忍耐と犠牲と決意をもって築かれるべきものであり、それによって、義に飢え渴く人すべてが満たされるのです（マタイ 5・6 参照）。み国の正義は、神の秩序の実現、すなわち、死んで復活されたキリストにおいて、すべての被造物が「よし」とされ、人が「きわめてよし」とされている（創世記 1・1-31 参照）、調和のうちにある神の計画の実現として理解されるべきです。移民や難民とともに未来を作るといふことは、彼らの一人ひとりがみ国の建設に貢献できるということ認識することであり、それを生かすことでもあります。

彼らの働き、犠牲の大きさ、その若さ、その情熱は、彼らを迎え入れる地域社会を豊かにします。しかし、こうした貢献が大切にされ、具体的なプログラムによって支えられれば、その貢献度は格段に大きくなるはずです。それは非常に大きな潜在力であり、機会さえあれば、すぐにでも発揮されるものです。

難民と移民の存在は、大きな課題であると同時に、すべての人にとって、文化的、精神的な一つの成長の機会でもあるのです。彼らのおかげで、わたしたちは世界とその多様性のすばらしさをより深く知る機会が得られるのです。人間性を成熟させ、より大きな「わたしたち」をともに築いていくことができるのです。互いに相手の役に立つことで、異なる考えと伝統の間に実りある出会いの空間が生まれ、新たな視点に心を開くようになるのです。また、自分たちの知らない宗教や霊性の豊かさを発見し、自身の信念を考究するきっかけにもなります。

こうした観点から、カトリック信者の難民や移民の到来は、彼らを受け入れる共同体の教会生活に新たな活力をもたらすのです。彼らは多くの場合、活性化の原動力の担い手となり、活気ある祭儀の盛り上げ役となっています。信仰や信心の異なる表現をともに味わうことは、神の民という普遍性（カトリック）をより十全に生きるための絶好の機会となります。



教会の様子(インスタグラムより)



## 聖母被昇天

「聖母被昇天おめでとうございます。」 シスターテッシー



聖母被昇天の祭日は、私たちが、死んだのち、天国に到るという希望を祝うものです。教会で古くから行われており、6世紀ごろから教会で普遍的に祝われています。復活した子イエスとともに、聖母マリアが地上での人生を終えた後、その体と魂が天に上げられたという事実を称えます。聖母被昇天は、この世における人生の終わりの時に、私たちが天国に入るといふ、カトリック教会の明確な教義です。私たちの信仰のこの教義は、初代教会の時代から信者によって大切にされ、信じられていました。1950年11月1日に、教皇ピオ12世によって、厳粛に宣言され、信仰の教義として定められました。つまり、それはすべての人が持つべき信仰とされたのです。教皇が宣言され

た一部です。「私たちはそれを神聖にして、明らかにされた教義であると表明し、宣言し、そして定義します：神の無原罪の母、永遠のおとめ聖母マリアは、地上での人生のすべてを終えたのち、その体も魂も天の栄光にあげられた。」聖母の被昇天は、神がマリアを愛し、地上での人生の終わりに、天国に召されたことを私たちに思い起こさせてくれます。イエスは母マリアから体と魂を受けました。イエスは、ご自身とその御母が私たちが天国で受け入れることができるように、私たちが、使命を果たすのを待っています。マリアは、神であるイエスの世話をし、その使命を果たすように支えることによって、神が彼女に委ねられた使命を果たしました。イエスの昇天後、マリアは、特にイエスの弟子たちを支えることによって、御子によってたてられた教会に奉仕し続けました。このように、私たちもまた、神から委ねられた使命を実現し、果たしていきましょう。今日、私たちは、天国におられるマリアが神の御前で、私たちのために執り成しをしておられるということを思い起こします。聖母被昇天は、神が聖母を愛し、イエスを信じ、信頼するすべての人に、イエスが約束された永遠の命をお与えになるということをよくあらわしています。また、私たち一人一人がこの世界に変化をもたらすことができるという約束に基づきます。貧しい人々、空腹の人々、身分の低い人々、そして、王座に座る人々はすべて、この世界をより良い場所にする機会を得るでしょう。また、この祭日は、マリアが教会の中で特別な人であることを記念します。教会では彼女が唯一の人としての親である、イエスの母として選ばれたということを初めに定義しています。このことだけを見ても、これまでに生きてきた他の人にはない、彼女の独自性が表れています。聖母被昇天の祭日は、私たち一人ひとり、特に、疑いと悲しみに悩まされ、視線を下げて生き、その視線を上げることができない人々への呼びかけです。聖母が私たちが手に取ってくださるように、私たちも人々にそのようにしましょう。私たちが、ロザリオを手にもって、彼女に祈るたびに、私たちは、人生の素晴らしい目的地に向かって、一步一步前進していくことができます。真の美しさに魅了されるようにしましょう。天国の門である聖母が、私たちの本当の家がどこにあるのか、彼女が母親のように私たちが待っているのはどこかを教えてください。私たちが、信頼と喜びの内に、それを見つめることができるように、私たちを助けてくださるようお願いしましょう。



## パウロ大塚喜直司教様司教叙階 25 周年銀祝と霊名のお祝いミサ

6月15日に司教叙階25年銀祝を迎えられたお祝いと霊名のお祝い(6月29日 聖ペトロ・聖パウロ使徒の祭日)ミサが6月26日 10:30 から大塚司教様の司式により執り行われました。司教様からは信徒へのお礼の言葉が贈られました。参加者からは司教様のますますのご健康とこれからも司教職を忠実に果たしていけますようお祈りを捧げました。



## シスターテッシー霊名のお祝い集会祭儀

7月23日 18:30 の集会祭儀の中でシスターテッシーの霊名(7月26日聖アンナの祝日)のお祝いが和やかな雰囲気の中、行われました。



## 故田中健一名誉司教様 一年祭ミサ

7月31日 10:30 から故田中健一名誉司教様一年祭のミサが大塚司教様の司式により厳かに執り行われました。



2022年8月～10月までの主な予定◇(予定は変更になる場合があります)◇

月	日	曜日	行事予定
8	7	日	[年間第19主日] 第15回戦争と平和写真展
	8	月	土曜学校錬成会
	14	日	[年間第20主日]
	15	月	聖母の被昇天ミサ 7:00、10:30
	21	日	[年間第21主日]
9	28	日	[年間第22主日] Sr.ロサ霊名お祝 10:30 集会祭儀
	1	木	すべてのいのちを守るための月間(～10月4日)
	4	日	[年間第23主日] 被造物を大切に作る世界祈願日 防災の日
	11	日	[年間第24主日]
	14	水	十字架称賛
10	18	日	[年間第25主日] 敬老感謝ミサ 10:30
	25	日	[年間第26主日] 世界難民移住移動者の日(献金)
	2	日	[年間第27主日] 10:00 ロザリオの祈り
	9	日	[年間第28主日] 10:00 ロザリオの祈り
	16	日	[年間第29主日] 10:00 ロザリオの祈り
	23	日	[年間第30主日] 10:00 ロザリオの祈り 世界宣教の日(献金)
	24-28	月-金	教区司祭黙想会
	30	日	[年間第31主日] 10:00 ロザリオの祈り 教会美化デー

## お知らせ (敬称略)

## ◆洗礼 おめでとうございます

2022. 5.29 アマンダ 中口 美奈子

2022. 5.29 クララ 藤澤 惟愛

## ◆転入 ようこそ河原町教会へ

2022. 5.22 ヨハネ・バプチスターノ・ラサール 平野 慶孝

2022. 5.25 アシジのフランシスコ 田中 軍治 2022. 5.25 クララ 田中 君江

2022. 6.23 テレサ 西堀 嘉美

2022. 6.24 マリア・テレジア 井上 朝菜

## ◆転出 どうぞお元気で

2022. 6.16 ヨハネ・ボスコ 児玉 康夫

## ◆帰天 主よ、永遠の安息をお与えください

2022. 5. 7 マリア 楠本 浩子

2022. 5.13 ヨゼフ 高山 和夫

2022. 6.26 ベロニカ 松井 英子

2022. 7.1 アントニウス 神野 顕

2022. 7.20 ヨゼフ 谷口 源太郎



## 主日ミサ(集会祭儀)の時間

土曜日 18:30

日曜日 7:00、10:30、  
12:00(英語・第2第4のみ)

## 週日ミサの時間

水曜日 9:30

最新の情報はウェブサイトで  
ご確認ください。講座の時間(休講の日もあり)  
(9月から再開予定)

これから洗礼を受けられる方向け

洗礼準備講座

土曜日 11:00(菅原神父)

## 一般向け

キリスト教入門講座 9月30日より再開

金曜日 19:00(瀧野神父)

「キリスト教の輪郭」

キリスト教入門講座

土曜日 16:00

(Sr.テッシーのチーム)

「キリスト教とは何か」

## 養成講座(信徒・一般向け)

読書会

「カトリック教会の教え」読書会

水曜日 10:00(瀧野神父)

## 要理通読会

「カトリック教会のカテキズム要  
約」の通読

木曜日 11:30(菅原神父)

## 聖書の集い

金曜日 11:00(Sr.ロサ)

## 聖書を学ぶ会

土曜日 11:00(Sr.ロサ)

## みんなの集い

土曜日 15:00(菅原神父)

「ガラテヤ書」を読む

第1土曜日 19:20(菅原神父)

(10月1日新規開講)

「これから洗礼を受けられる方向け」  
は事務室かrakuto.nyumon.class@gmail.com まで  
事前にご相談ください。

カトリック河原町教会だより 2022.7・8 カトリック河原町教会広報部発行

〒604-8006 京都市中京区河原町三条上る下丸屋町423 発行責任者:洛東ブロック司牧チーム

TEL:075-231-4785 FAX:075-211-8021 URL:<http://CatholicKawaramachi.Kyoto>